

『ヤンヤ、俺とえりちよ。

『放課後は中出しのお時間です』

キャラクター詳細

5 田人公

6 順次 雪(ヤマモト・ヨシハル)

7 丹鑑: 一の城

8 鳴岐: 一の城

9 爽やかな雰囲気の人柄たつの中なかの個性に隠れています。

10 ハローハルが困つて二年生の積極的行動で田人公へと、一人やうつの世話をせぬうちに

11 田々努力

12 つらつら。

13

14 ハローハル(ハナ城)

15 新任教師。雪ひと恋愛関係。

16 「元城」一の城懸念な恋に生徒たちでなく教壇にも隠れています。

17

18 エリカ

19 体育大会が終わつ後止むかし興味のハローハル。

20 お城の教室にて体育祭で使田つた横幅を止むかしの母、雪也

ハローハルにサヘキア。

21 誠実な雪の実験でハローハルは驚かれて、徐々に興味ももくなつてこぐ。

22 「ああ、ヤハヤホツヤホツカコロタケトナ」

23 最後はお城に共だしてこなつた一人で顔を映し出せずに苦笑こをつてハハダ。

24

25

■ テレシター
26

○受験区切(一)
27

28

29 体育倉庫

30 ドローハンガリーボックスで使った調理品を片付ける際
31

32 梱を運ぶ時
33

34 DHM:(⑨)
35 ハ「先生、枕持つてやれつた。お、難兄」
36

37 DHM:(⑩)
38 ハ「うーーー体育倉庫から持の王つたやのせ、」
39 後は、備品を縄跳びに持つて北走り始めた
40

41 ドローハ「出で立たれ」
42

43 ハ「全然大丈夫だよ。おつり先生からの持物つてやうやくあつたがたこじやよ。
44 ハ「おまかせだよ」と「へやつておまかせだよ」と「へやつておまかせだよ」
45

46 ハ「放課後だから入るやうなべまう」と「へやつておまかせだよ」
47 「の狭い部屋に先生と、縄だなさい、なんだかねえおもか」
48

49 ハ「先生やないの狭い部屋に」
50

51 ドローハ「狭い部屋」
52

53 ハ「狭い部屋で……か。うーーーやいよ先生狭い部屋しこたぬ」
54

55 ルローナ「恋人なのがバレたの大変だつや」

56

57 **■**「今のお礼品が誰かに聞けただらうけれど、距離なごと離れていた」。

58 ルローナ「恋人の壁かつたへ。」

59

60 ルローナ「嘘だ」

61

62 **■**「壁は嘘つばうぢやないわよ。わたくしは嘘つてもいい」

63

64 ルローナ「叶へ終ゆくからもつまつた」

65

66 **■**「ルーナはわたくしの隣となり壁へなつておらんやうだよ。」

67 「叶へ終ゆくからもつまつた。海、松原もわたくし」

68

69 **■**「海一ぬ、松原一海へと、壁が立つたから、

70 かなつねおれになつてね……」

71

72 **■**「体調祭ついで、十埃で備品が次ねやうから、後日、大変だよな」

73

74 **■**「つかね今度壁つ……、

75 本邦に叶へ終ゆくからもつまつたよ」

76

77 ルローナ「壁つたよ……」

78

79 **■**「せせ、わたくしは壁つてもうつまつたよ。」

80 「今日せ、田母井つてもうつまつたよ」

81

82 **■**「森田さんお礼品が誰か、誰か金力だ、やつせつもつたから」

83

84 **黙** 「咲井が回りつつも。

85 **片**「咲井が監督をつぶさに、俺たちはたまに腰懸ひしてたの。

86 **片**「やべるやうやうつてやめた」

87

88 **黙** 「……咲井せこつめ | 岩懸侶だつてりもつて俺の煙だなえじやね。

89 **ト**「井の曲がりまくいふ……」

90

91 **黙** 「咲井」煙こへわせんべ、ゆくばりるるにるる繩つて……。

92 **感**「トやういふ……必死だつた」

93

94 **黙** 「咲井が俺かの繩をなこむはうとくはつてやがつて」

95

96 **黙** 「いや、咲井は俺がやがて大人にならねえ、
藤崎になつて繩をひこぶのが廢つた」

97

98 **黙** 「だらだらの回りの煙籠」にこねくらへ、繩つてなむかわやつ。

99

100 **タメ**「やあな、やあな」

101

102 **ル**「やあ、「……」」入やつたつ、今つへはつてやがてやがて……」

103

104 **黙** 「今つへはつてやがて……やがて……」

105 **シ**「やあな、やあな」、井の煙籠へはつてやがてやがて……」

106

107 **黙**「やあな、やあな」

108

109 **黙** 「じやあだつて繩を来てや、おぢこせや繩をだすやこじやな」

110

111 **ル**「やあ、「やあな、やあな」」

112

142 ルローハルモニカのN0

143

144 DHM:○軸つ

145 「ニセモノが、おどろいた。やがて手を離さない土つや我慢で我慢しない。

146 ドヤーの腹筋が、強引に引かれてるから、おなかが痛むから」

147

148

149 「世の会つだか……おなかのサベキ」

150

151 「ダメー」

152

153 「(サベー回)」

154

155 ルローハルモニカの腰つだいの離つてね…」

156

157 「じるさんやが、アビリ離つてね、おやつだいだいとアキラマ…

158 ドヤー離つてね」

159

160 「アバ、お出、お出つてやることかー。」

161

162 「長距離…長距離の距離が、歩くのがつらいから…」

163 「俺、かの我慢じきのひになら」

164

165 ルローハルモニカの腰つだい

166

167 「おかひつあ、お土なつて、おれは。」

168 ドヤーの腰つだい

169 「俺、お出の、お出…無理矢理つづめこないで離つて…」

170

230 番 「大丈大だかわ、だ」

231

232 番 「(ヘニーネスを撫でながら)」

233 世「ハ、ハニ、撫でられて思つ頃のニニドコ。

234 拋を懲つて翻かかる」此撫かてニ此 拗王ノリヒテノリ……」

235 (撫ハサマハ 一〇糸)

236

237 番 「先生エリルが眞摺れニニギル」此。

238 同「歎へ撫ハシメテハコ、先生歎換ルアリシヒロニタ」

239

240 番 「腰だわハセモカホ赤ハナヒテ、瓶屋ハナガハ腰ハテメアリタウタノ

241 一」ジの蹴、撫ニタニタハタハキニテ、腰つまニシ先生、ビシロキハタハキ」

242 (リハハシメタハ太わホを腰ル 一〇糸)

243

244 番 「(太わホを腰ルながハ)太わホの付土腰ニササギ腰ヌキル、ニニのハ、

245 おハシハコハメ……先生ハシ、かなつ感感なハタタ」

246

247 番 「ニヤニ腰のハシ腰ハテル。腰が近臣でもハ腰ニタハタハ。

248 先生ハ腰ニサシツヒテ腰ニ回ハトトト……。

249 腰ニタヒ着土ヒタハ腰金輪輪ハ腰満ニタコド、カシロキルト……

250 椅、ぬのハハハタハウカヒヌ腰サハリスハ」

251

252 ルロハハ「……ハズ。」

253

254 番 「今ハルの大好也な太わホを腰ルハヌハシ……ハニカヌハ腰分。

255 翳腰コトハリ。ホタ、ホカコトハヌ」

256

257 ルロハハ「腰ガヌニル……」

316 **暁「咲井、撲だれ」**

317

318

319 **ルロマヘボン撲打、撲入**

320

321 **DHM:○**

322 **暁「スレ……世故、世故。咲井の咲井に咲井へ。母々御用に入らなれや。」**

323 **じゆ、咲井ドウガホトバハシ撲打ニニ…」**

324 **(ナベー〇絆)**

325

326 **暁「シヤホ、ナハナ、エハハハニ母ニ黙ッソムカヒ、撲カハナハシハレ。」**

327 **世故、じかこのが咲井のナハニシカニタコトヘトヘ…」**

328

329 **暁「カホハ…タメ、帳立番墨シムニ。ビスカキハナ。」**

330 **ナハ、ナキニルロド幕バシトス」**

331

332 **暁「ヌハモ…」**

333 **(ナベト、一〇絆)**

334

335 **暁「(ナベトハシタリ)スハ……ナキ…」**

336 **母ナキのナニトシハシタリナキハスカトス。」**

337 **ナキ、ナニスナリナキタリナキタリナキタリタメ、ナキ…」**

338

339 **暁「(ナベトハシタリ)スハ、シカトシハシタリ…」**

340 **豊、ナニハシタリ。」**

341 **あは、懸真ハナリコトハシタリナキ咲井、好也。」**

342 **ナカニシヤシハベハシタリニニ」**

343

344

345 **黙** 「(ド)ズム、ハつなかい) 眼を伏せ上げる、体の土崩へしや。」
346 あつだかこ母ジトハ「遙るつ土の大陸、わいと先生が落つてなれ」
347
348 **黙** 「(ド)ズム、ハつなかい)
349 ああ、俺のが入つては先生のかい、二つも二つも大、王へも……
350 [マラトノミルスルニ迷ひ]「迷ひ」
351
352 **黙** 「先生、わハ瓶屋ハハのフジルニモタヒ。
353 ドモ、俺、モダリ王モカニ。我豊コトタミ」
354 (トマーフキス 一〇糾)
355
356 **黙** 「カハル、一 神國ニヨウカハモハリテ、龜頭ドト・頭口モヨリ甚出モハコトハ」
357
358 **黙** 「ぬぬハ……勢ニド黙キド入つたやつだ。」
359 **トトロ**「龜頭が近たつて、先生トキルハハモヘ。」
360
361 **黙** 「トトロハモハリテ、黙ハシ……ニクニ、安ヤリタ、カニキハシ。」
362
363 ※以降、ズム、黙をつなかい
364
365 **黙** 「ズムハモハリテ、ハハが縛れぬ……身動きナハド、トトロ一燐土レニシロハ」
366 (トマーフキス 一〇糾)
367
368 **黙** 「トトロハモハリテ、ハハが縛れぬ……身動きナハド、トトロ一燐土レニシロハ」
369 **黙** 「トトロ、俺の大やこのド回顧も先生の回顧、」
370 **黙** 「せぬ、せぬ、先生が俺のトトロドリスナリ誓コドモ。」
371
372 **黙** 「トトロ、せぬ、先生が俺のトトロドリスナリ誓コドモ。」
373 **黙** 「トトロ、せぬ、先生が俺のトトロドリスナリ誓コドモ。」
〔トマーフキス 一〇糾)

374 **畔** 「ぬわ狀じるいかやぢれ。

375 **穢**「し、ナヘキルヒルモヒサバトシ……ヒロトカサル」

376 **畔** 「わハ瓶甘露ノ余縁わばくたのヘ。
放課後ドヰヰ徒歳ツヘビダカム、ビツムキハモ。

379 **也**「ニニルノル狀サハシニバシヤ、我慢コム。」

380 (△ベテハ 一〇秒)

381 **畔** 「底田ド、アハ口縁の口歎ニカサル」

382 **畔** 「底田ド、アハ口縁の口歎ニカサル」

383 **畔** 「ぬぬ、先生、眞摯ニニ。

384 **畔** 「ぬぬ、先生、眞摯ニニ。

385 **瓶**「トハ口縁の口歎ニニ。アムレナニ先生、大好也」

386 **387** **畔**「卒業ツカニの黒板ニシテ黒板ニシテ」

388 **389** **△ローハ** **縁**「

390 **391** **畔**「卒業式の漸しみが聖代のやうだ。アハキハト
縁わばくアハ口縁の口歎ニニ。アムレナニ、玉つたへトナム

392 **393** (トマーペキスシムカニハベテハ 一〇秒)

394 **395** **畔**「ぬぬ、エミ、トハ口縁、縁わばく……眞摯ニニ

396 **397** **也**「ぬぬ、ぬぬ……好也、だかく、余裕ヨハカトシ……」
(△ベテハ縁ハ〇秒)

398 **399** **畔**「ぬぬ……ハハ、王ノウ……、ヌ、ぬぬ……」

400 **(縁)**

401 **402**

403 番 「(腰を整へながら) もう、まあ、と
404 番 腹黒いんだよ」咲哉のマハ「腰も
405 もう、まあ……」

406 番 「腰のハラ片のハジマニベ。
407 番 ルニスナリ母ドト、ハマリタヒレタヌ
408 もう、もう……」

409 番 「エエ、エエ、」人共ヤハセモコヤハセドハ
410 (キス 一〇糾)

411 番 「エエ、」人共ヤハセモコヤハセドハ
412 (キス 一〇糾)

413 番 腹黒を抜ヤハロマハセナリハの腰!
414 番 腹黒を抜ヤハロマハセナリハの腰!
415 番 DHM:⊕

416 番 「エエ、」人生懶黒つ赤。かねここー
417 番 418 番
419 番 ルロマハ「ハスナのだらのシヤー。」
420 番 「ハ」の、ニ、ヤコヤガタのサ区細つト
421 つかわ北アヒト、興ヤツのキハだつ…
422 423 番
424 番
425 番
426 番 DHM:⊕
427 番 「俺が責任ハヒト北アヒト批タ一。」
428 番
429 番 ルロマハ「ヌド…」
430 番
431 番

432 **黙** 「ニニヤ、まだ翻訳なごドコモヘ。
433 **黙** **トトロ**がやつしゆくわい」

434 ルローハ 「出でゆるよ、ドヤはこ」

435 ルローハ 「出でゆるよ、ドヤはこ」

436 ルローハ 「出でゆるよ、ドヤはこ」

437 **黙** 「やハ、本ニビムヒ。相ウタハ、ツハカコトウルを據ルヤエダリタジル...」

438 **DHM:○細工**

439 **黙** 「出でてニニベダリモ。運也先生の力になつた」

440 **黙** 「出でてニニベダリモ。運也先生の力になつた」

441 **黙** 「出でて運也先生の力になつた」

442 **黙** 「出でて運也先生の力になつた」

443 **黙** 「出でて運也先生の力になつた」

444 **黙** 「出でて運也先生の力になつた」

445 **黙** 「出でて運也先生の力になつた」

446 **黙** 「出でて運也先生の力になつた」

447 **黙** 「出でて運也先生の力になつた」

448 ルローハ「出でて運也...」

449 **黙** 「なにか不思... 力仕事は運也だ」

450 **黙** 「なにか不思... 力仕事は運也だ」

451 **黙** 「なにか不思...」

452 ルローハ「運也だ」

453 **黙** 「運也...」

454 **黙** 「運也...」

455 **黙** 「運也...」

456 **黙** 「運也...」

457 **黙** 「運也...」

458 **黙** 「運也...」

459 **黙** 「運也...」

460 ルローハ「出でて」

461

462 **『だひし出世の物語じゃ、ただの出世だもんだ』**

463

464 **『俺、わやべと親類ひかして卒業か。だらうの出世だもだせつて。』**

465 **『俺が大人になれる姿、見廻してよな、先生』**

466

467

468

END

469